



2025 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 住石ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 森 省 輔
(コード1514 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 取締役執行役員財務部長 宮 澤 義 典
(TEL 03-5511-1400)

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2025 年度から 3 カ年を対象とする中期経営計画を策定し、本日開催の取締役会において決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画策定の背景

ロシア・ウクライナ戦争による石炭価格の上昇により、当社の 2024 年 3 月期の業績は豪州ワنبオ社からの利益分配金などにより過去最高益となり、2025 年 3 月期も過去 2 番目の業績となりましたが、将来においては脱炭素化の影響により、当社の主力の石炭事業において石炭需要の減少による業績へ影響が予想されます。

そのような状況下において、当社は、当社グループの企業価値の向上及び株主還元の安定と充実を図るため、中期経営計画を策定しました。

2. 中期経営計画（2025 年度からの 3 カ年計画）

「人と技術と資源と向き合い、その先へ」という新たなコーポレート・スローガンのもと、市場変化に柔軟に対応することで、2027 年度において営業利益 5 億円を達成し、豪州ワنبオ社からの利益分配金を含め、経常利益 24 億円の事業規模を目指します。

2.1. 中期経営計画の数値目標

(単位：百万円)

	実績 2025 年 3 月期	中期経営計画 2027 年度 (2028 年 3 月期)
営業利益	48	500
経常利益	4,711	2,400
ROE	15.3%	8 %以上

(注) 中期経営計画の最終年度である 2027 年度の経常利益に含まれる豪州ワングボ社からの利益分配金は、現時点の予想数値となります。

2.2. 中期経営計画を達成するための事業セグメント別の基本的な施策

事業セグメント	基本的な施策
石炭事業	・ 自社コールセンター、コールヤードの機能強化による石炭取扱量の拡大 ・ 脱炭素化に向けた顧客のバイオ燃料への燃転シフト等への対応強化
新素材事業	・ 資本業務提携先との協業等による多結晶ダイヤの製造販売事業の規模拡大及び固定砥粒市場への参入強化
採石事業	・ 供給エリアの市場ニーズ開拓による碎石供給の拡大 ・ 新規顧客の獲得に向けた新たな販路エリアの開拓
新規事業	・ 新規事業に係る検討チーム組成と立ち上げ準備

2.3. 中期経営計画を支える成長投資（2025 年度からの 3 カ年計画）

成長投資額	成長投資の主な内容
30 億円	・ 現有 3 事業の基本的な施策遂行のための投資 ・ 新規事業への投資 ・ 遊休地の活用に向けた投資 ・ 成長を推進するための人材への投資

2.4. 中期経営計画を支える財務戦略（2025 年度からの 3 カ年計画）

（１）配当方針

配当については、配当性向 40%以上を目安に継続的かつ安定的な配当を実施することを基本方針としつつ、当社を取り巻く経営環境や収益状況に対応し、将来の事業展開に備えるため内部留保を勘案の上、決定する方針といたします。

（２）自己株式取得の方針

中期経営計画の策定を踏まえ、今後の株式市場の状況、会社の財務の状況等を考慮の上、機動的に自己株式を取得する方針としました。具体的な自己株式取得の実施につきましては、当社の取締役会において決議を行い、別途開示の上、実施してまいります。

以上